

アジア・太平洋電気通信共同体(APT)研修の実施

「上級幹部政策研修ワークショップ」(2024年5月27日~30日、東京)

本研修は、各国の通信主管庁の政策立案責任者等の上級幹部職員を対象として、通信政策課題の解決に向けたワークショップ型研修コースを開催し、政策課題毎のテーマによる論議を通じて、問題の解決方策や多面的な視点を提供するとともに、参加者の相互理解と人脈形成を支援することを目的としています。※これまでに、2019、2020、2022 及び 2023 年に実施。

今回は、アジア及び大洋州地域の APT 加盟国の通信主管庁等の局長級上級職員 9 名及び APT 事務局総長が参加しました。

- 参加者 9名(インド、インドネシア、ラオス、モンゴル、ネパール、フィリピン、パキスタン、スリランカ、パラオ、パプアニューギニア)



**「電波（周波数）の有効利用に資する最新無線技術動向研修」
（2024年11月26日～11月29日、東京）**

移動体通信の利用の急増や大規模災害時における無線通信利用の重要性や有効性など無線通信の更なる高度化に対するニーズと期待が高まっています。

本研修では、研修生が周波数を最適に有効利用するための制度・政策、最新の移動体通信技術やサービス動向を学び、各国における電波の有効利用促進することを目的としています。

講義の内容としては、総務省、関係機関等による講義に加え、最新無線技術のユースケースの視察を行い、ローカル 5G を活用した農業の取り組みや、長距離伝送無線 LAN(802.11ah)の設備見学、成田国際空港での自動運転の実証等の事例を紹介、最新の放送技術、5G と接続した衛星通信、自然災害に備えるための通信事業者・自治体・政府間の連携の取り組み等を紹介しました。

○ 参加者 14 名(13 か国：バングラデシュ、ブータン、カンボジア、インドネシア、イラン、ラオス、マレーシア、モンゴル、パラオ、タイ、トンガ、バヌアツ、ネパール)



農業 ICT 視察（ローカル 5G 活用例）



グループディスカッションの様子